

浜中だより

第 7 号

御前崎市立浜岡中学校

平成30年11月5日(月)

文責：萩田慶彦

校訓「自主」「共生」「自立」

学校教育目標「光り輝く学校」

重点目標「こころざしをもち高め合う生徒」

～平成30年度全国学力・学習状況調査の結果と今後の取り組みについて～

◆全国学力・学習状況調査とは

全国学力・学習状況調査は、小学校6年生と中学校3年生を対象に行われる調査（本年度は4月17日に実施）です。「国語・数学・理科の問題」と「学校や家庭での学習や生活の様子を把握する生徒質問紙調査」から、学力と学習状況を調査します。文部科学省や静岡県教育委員会は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的としています。また、学校は、本調査の結果を生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てることが求められます。

〈学力の3要素〉		〈全国学力・学習状況調査〉
① 基礎的な知識及び技能	→	主として知識に関する問題A（理科を除く）
② 思考力・判断力・表現力その他の能力	→	主として活用に関する問題B（理科を除く）
③ 主体的に学習に取り組む態度	→	児童生徒質問紙調査

◆全国学力・学習状況調査の結果

※静岡県もしくは全国平均より正答率が5%以上高い場合○、10%以上高い場合◎
※静岡県もしくは全国平均より正答率が5%以上低い場合△、10%以上低い場合×
※静岡県もしくは全国平均より正答率の差が5%以内の場合は空欄

国語：			数学：			理科	
学習指導要領の領域等	国語A	国語B	学習指導要領の領域等	数学A	数学B	学習指導要領の領域等	
話すこと・聞くこと			数と式			物理的領域	
書くこと			図形			科学的領域	
読むこと			関数	△	△	生物的領域	△
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			資料の活用	△		地学的領域	△

〈国語について〉

国語A（主として知識）、国語B（主として活用）ともに、本校の正答率は、全国平均と比較しても大差は見られませんでした。「漢字を正しく書く」ことについて十分な力をつけていないことが課題と言えます。SNSの普及により、文字を書く機会が少なくなっていることが要因であると考えられます。

〈数学について〉

図形領域に関して、問題の基本的な知識・理解、問題の発展的な見方や考え方のどちらの問題も高い正答率でした。図形領域が得意な生徒が多く、基礎・基本がしっかり身に付いているため応用問題も習った知識を用いて解くことができたと言えます。関数領域に関しては基礎的な問題の無回答が目立ちました。関数については苦手意識があることがわかりました。

〈理科について〉

第1分野（物理・化学）の正答率は、全国平均と比べて大きな差はありませんでした。、第2分野（生物・地学）の正答率は全校平均と比べて低いことがわかります。理科に関する関心は高いですが、実験の考察など科学的に思考したり、表現したりすることに苦手意識がある生徒が多いようです。

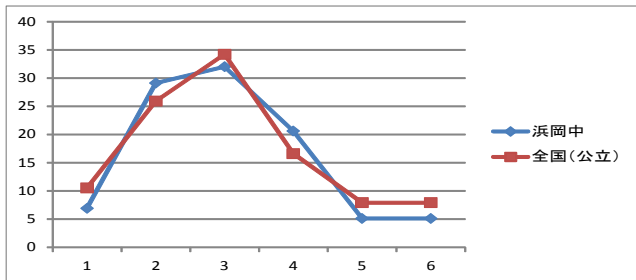
◆生徒質問紙調査から

「生徒質問紙調査」は、学校や家庭での学習や生活の様子について59の設問に答えるものです。その中でも学習環境や学習意欲との関連が強く、浜岡中の生徒の傾向が強く表れていると考えられる設問の回答結果について紹介します。

学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらい時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

●グラフの横軸（項目）

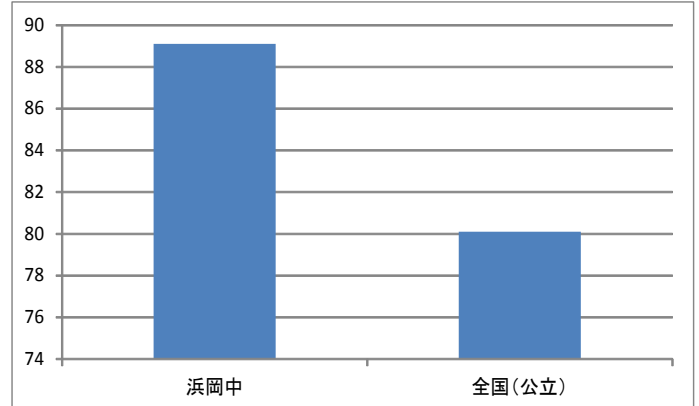
- 1：3時間以上、2：2時間以上3時間未満、
3：1時間以上2時間未満、4：30分以上1時間未満、
5：30分未満、6：全くしない



※各グラフの縦軸（項目）は%

週末に何をして過ごすことが多いですか。

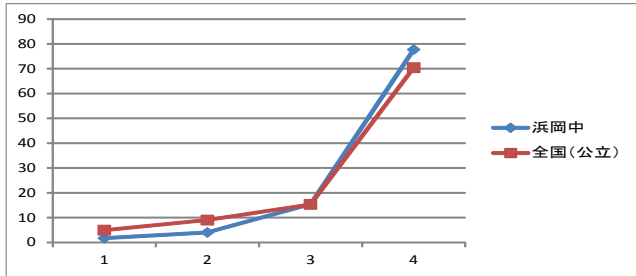
●「家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしている」の項目に着目



新聞を読んでいますか。

●グラフの横軸（項目）

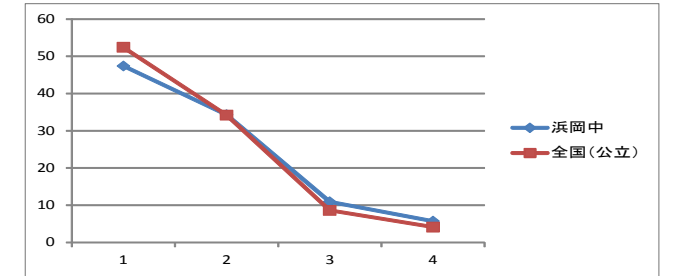
- 1：ほぼ毎日読んでいる、2：週に1～3回程度読んでいる、
3：月に1～3回程度読んでいる、4：読まない



テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか。（携帯電話やスマートフォンで見える場合も含む）

●グラフの横軸（項目）

- 1：よく見る、2：時々見る、3：あまり見ない、4：見ない



◆質問紙調査から見える浜中生の主な傾向

※上記のグラフの縦軸は%です。

良い点	改善点
<ul style="list-style-type: none"> ◎「学校の規則を守り、落ちついて生活できている」と回答する生徒が増えています。 ◎生徒間で話し合う活動を大切にしています。生徒同士が互いの考えを尊重し、聴く姿勢が磨かれてきていることがうかがえます。 ◎「人の役に立つ人間になりたいと思う」の項目が全国平均を大きく上回っています。社会に貢献したいという気持ちが高まっていることがわかります。 ◎地域の行事に参加している生徒の割合が高く、地域の一員としての関心の高さをうかがうことができます。また、地域を良くしたいと考えている生徒も多くいます。 	<ul style="list-style-type: none"> △学校以外の学習時間は少なく、家庭学習の中で予習や復習に取り組む生徒が少ないことがわかります。また、宿題を行っている生徒の割合は多いものの、学校以外での学習時間が少ないことから、宿題以外の家庭学習を取り組んでいないことがわかります。 △学習時間が少なくなる原因としてテレビ・ゲーム・スマートフォンなどの時間が多いことがわかります。 △ゲームやスマートフォンの使用時間は多いもののニュースを見る生徒は全国平均を下回っています。また、普段から新聞を読む生徒は全国平均の1/3程度です。社会時事への関心が低いことが課題です。

◆今後に向けて

〈学校では〉

- ・生徒一人一人の声を大切にし、寄り添った指導にあたっていきます。浜中生が得意としている話し合う活動をより効果的に授業に取り入れ、生徒が主体的に思考できる授業づくりを目指します。

〈家庭では〉

- ・基本的な生活習慣や家庭学習の状況が学力調査の結果に大きく影響していることがわかります。ゲームやスマートフォンなどのルールについて各家庭で話し合い、学習に力が入る環境づくりをお願いします。
- ・自学ノートや自習室などの家庭学習をがんばっているお子様を温かく見守り、丁寧な声かけを継続していただき、学習意欲が向上するようにご支援ください。
- ・ニュースや新聞記事を家庭の話題にするなどして、社会事象に関心がもてるようご支援ください。